

## 東北大学医療技術短期大学部 紀要編集委員会規程

- 第1条 東北大学医療技術短期大学部に紀要編集委員会（以下「委員会」という。）を置く。
- 第2条 委員会は研究報告の編集および刊行に関する事項を取り扱う。
- 第3条 委員会は専任教官若干人の委員をもって組織する。
- 第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。  
2. 委員長は委員会を招集し、その議長となる。
- 第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 第6条 委員会は協議した重要事項を教授会に報告し、承認を得るものとする。
- 第7条 委員会は、編集幹事（以下「幹事」という。）若干人を置くことができる。
- 第8条 幹事の責任者は委員長とする。
- 第9条 幹事の任期は特に定めない。
- 第10条 この規程の改廃は教授会の承認を得るものとする。

### 付則

この規程は平成3年9月24日から施行する。

## 東北大学医療技術短期大学部 紀要編集委員会内規

1. 紀要編集委員の選出
  - 1) 本学専任教授および助教授若干人を委員として選出する。
  - 2) 原則的には各学科より1名を推薦する。
  - 3) 部長は委員として参画する。
2. 編集幹事の選出  
編集幹事は各学科より1名を推薦して構成する。
3. 原稿の採否
  - 1) 原則として査読制とする。
  - 2) 査読者は委員会委員とするが、委員会は委員以外の者を推薦できる。
  - 3) 査読者として推薦される者は原則として本学専任の教授、助教授、講師とする。
4. 論文の提出期間
  - 1) 原則として毎年4月1日から4月15日と8月25日から9月10日までとする。
  - 2) 提出先は委員長とする。
5. 刊行期日  
原則として毎年7月31日と翌年1月31日とする。
6. 費用負担
  - 1) 印刷費は中央経費として実費相当額をプールする。
  - 2) 諸経費の負担は各巻毎に受益者負担（学科負担）とする。

7. 別冊

無料配布 30 冊とする。

8. 図・表および写真

- 1) 図を作成した場合は投稿者の実費負担とする。
- 2) カラー写真は原則として受付けない。ただし投稿を希望する場合は投稿者の実費負担とする。

付：平成 3 年 9 月 24 日 実施

平成 4 年 7 月 20 日 一部改正

平成 10 年 10 月 26 日 一部改正

## 東北大学医療技術短期大学部紀要投稿規定

1. 紀要名称

東北大学医療技術短期大学部紀要

2. 発行

原則として年 2 回とする。

3. 投稿論文

- 1) 東北大学医療技術短期大学部の専任教官が著者または筆頭の共著者であること。
- 2) 本学専任教官の指導または協力による共同研究者（共著者）で編集委員会が協議のうえ認めたもの。
- 3) 紀要編集委員会（以下「委員会」という。）で投稿を依頼したものなどとする。

4. 投稿原稿

和文または英文の原著，事例報告，その他評論，解説，翻訳などで未発表のものとする。総説は依頼原稿を原則とする。

5. 論文の採択

投稿論文の採否は委員会の審査による。

6. 論文提出先

投稿者は委員会の指定する日までに委員会に論文を提出する。

7. 編集

- 1) 初校・再校は，著者校とし，校正での新たな加筆修正は認めない。校正の返送期日は厳守すること。
- 2) その他掲載順序など編集に関することは委員会に一任する。
- 3) 論文に関して問題が生じた場合は著者と協議のうえ決定する。

8. 別刷

別刷を希望する場合は，初校の際に必要な部数を委員会に申し出る。費用は著者負担とする。

付：平成 3 年 9 月 24 日 実施

平成 4 年 7 月 20 日 一部改正

## 執 筆 要 領

### 1. 原稿の様式：

- 1) 和文または英文の原著，事例報告，その他評論，解説，翻訳などで未発表のものとする。総説は依頼原稿を原則とする。
- 2) 原稿の様式は題名・所属・著者名，英文要旨，索引用語，本文，文献，図表の順に記述する。英文の場合は和文に準ずる。

### 2. 原稿の書き方：

- 1) 原稿は和文の場合横書き B5 版 400 字詰原稿用紙を用いる。同じ字詰のワードプロセッサによるものでも差支えない。英文論文は A4 版ダブルスペースでタイプする。
- 2) 和文原稿には英文の英文原稿には和文の表題，著者名，所属を併記する。
- 3) 英文要旨：  
要旨は A4 版ダブルスペース 250 語以内とする。要旨は抽象的記述でなく，目的，方法，成績，結論などの具体的な数字，内容を簡明にまとめる。
- 4) 索引用語 (Key words)：5 個以内とする。
- 5) 現代かな遣いにしたが，常用漢字とする。
- 6) 度量衡は原則として SI 単位とする。
- 7) 外国人名，薬品名などの科学用語は原語のまま，またはカタカナとする。原語の場合，固有名詞，ドイツ語名詞の頭文字は大文字とする。
- 8) 論文にしばしばくりかえされる語は略語を用いて差支えないが，初出のときは完全な用語を用い，以下に略語を使用することを明記する。
- 9) 枚数制限：
  - a. 原著は文献，図，表を含め，和文では 400 字詰原稿用紙 40 枚以内，英文では A4 版ダブルスペース (24 行) で 20 枚以内とする。ただし，図，表は合計 10 枚以内とする。
  - b. 事例報告は文献，図，表を含め 400 字詰原稿用紙 20 枚以内，英文では A4 版ダブルスペース (24 行) で 10 枚以内とする。ただし図，表は合計 10 枚以内とする。
  - c. 総説その他の原稿は原則として原著に準ずる。
- 10) 図 (写真) および表：
  - a. 図 (写真) および表はそのまま印刷できる明瞭なものとする。
  - b. 大きさを希望する場合は寸法を明記する。
  - c. 図 (写真) および表にはそれぞれ番号をつけ，一括して原稿の末尾に添える。原稿中には挿入場所を欄外余白に朱書きする。
  - d. 図 (写真) および表には表題をつけ，必要に応じて説明文をつける。
  - e. 写真は手札以上の大きさにプリントした鮮明なものに限る。
  - f. 図，表の 1 枚は和文の場合 400 字詰原稿用紙 1 枚，英文の場合は A4 版ダブルスペース 1 枚に相当するものとして取り扱う。
  - g. 原則的には，表 (図，写真) を 2 つ以上組み合わせにして表 1，(図 1) とはしないこと。組み合わせた場合はその総枚数によって本文の枚数を勘案すること。
  - h. 論文の最初の頁は右頁 (奇数頁) から開始し，白紙の頁を作らないため表または

図（写真）は編集上その大きさを調整することがある。

11) 文献：

- 1) 文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。
- 2) 著者名はすべての者を明記する。
- 3) 誌名略記は Index medicus または慣用略称を用いる。
- 4) 文献の記載方法

a. 雑誌

著者名：表題，雑誌名，巻，頁（起始頁—最終頁），発行年（西暦）

- (例) 片倉 剛, 大石幹雄, 鈴木正吾: X線 TV による多層横断面の合成法, 断層撮影会誌, **11**, 33-36, 1984
- (例) Tanabe, F., Ogata, M., Ito, M.: Low-density lipoprotein oxidized by polymorphonuclear leukocytes inhibits natural killer cell activity, *J. Leukocyte Biol.*, **43**, 204-211, 1988

b. 単行本

著者名：表題，編集者，書名，版数，発行所名，発行地，発行年(西暦)，引用頁（起始頁—最終頁）

- (例) 三輪史郎: 血色素量と赤血球酵素, 小酒井 望, 河合 忠編, 検査データの読み方・考え方, 7版, 宇宙堂八木書店, 東京, 1984, p. 20-28
- (例) Grety, R.J.: Newly licensed Hepatitis B vaccine, *Viral Hepatitis B*, 2nd ed., Plenum Press, New York, 1990, p. 189-194

c. 訳書

(原則的には原著を引用すること)

- (例) Freeman, K., Heinrich, H.K.: *Community Health Nursing practice*, Saunders, Philadelphia, 1981: 橋本正巳監訳, 地域保健と看護活動 — 倫理と実践 —, 医学書院サウンダース, 東京, 1985, p 192-199
- (例) Pedritti, L.W.: 身体障害者の作業療法, 小川恵子, 山口 昇, 青木真由美訳, 協同医書出版, 東京, 1985, p 103-115

3. その他：

- 1) 論文は原則として、フロッピー（テキストファイル化）とそのプリント1部を提出すること。
- 2) 投稿に際しては「投稿届」を提出する。なお投稿届（書類）は委員長から受け取ること。
- 3) 投稿に際しては投稿届に本文，文献，図（写真），表などの枚数を明記する。
- 4) 略題（ランニングタイトル）は，和文の場合 20 字程度，欧文の場合は 5 語程度として投稿届に付記すること。

**紀要編集委員**

○小 林 光 樹  
小 林 悌 二  
佐 藤 行 彦  
増 田 高 行  
佐 藤 喜 根 子  
(○印 委員長)

---

**東北大学医療技術短期大学部紀要 第11巻 第1号**

2002年2月28日 発行

発 行 東北大学医療技術短期大学部

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号

TEL (022) 717-7909

FAX (022) 717-7910

印 刷 笹氣出版印刷株式会社

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8番45号

TEL (022) 288-5555

---